

指定校番号	28070	学級活動	生徒会活動	○	学校行事	別紙様式
-------	-------	------	-------	---	------	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立庚午中学校	校長	原之園 和弘	生徒指導主事	藤井 麻里
-----	-----------	----	--------	--------	-------

取組事例名 『無言清掃』

取組のねらい『キーワード 予防的生徒指導』

学校の一員として、よりよい学校生活へ貢献するための役割や責任を果たし、学校生活全体の充実・向上を図ろうとする意欲や態度を育てる。

取組の具体的内容『キーワード ユニバーサルデザイン』

学校全体で掃除の仕方を統一したことで、学年・学級の温度差をなくし、進級しても、生徒が混乱しない仕組みになるよう工夫した。役割や手順をはっきりさせ、どの生徒にとっても活動しやすく集中して取り組めるものになった。



取組の課題・創意工夫『キーワード 一生懸命、役割を果たす』

- ① 無言清掃をイメージ化するための「無言清掃DVD」を作成し、年度初めに全校生徒で視聴する。学校全体で、意識統一が図れ、どの先生も、どの学級も「揃える」ことができた。生徒が「まじめにするってかっこいい」「きれいになるのは気持ちいい」という意識づけを行うことに効果があった。
- ② 実践的な校内研修を実施する。
導入に当たっては、事前に校内研修を行い、教師自身が生徒と同じ目線で清掃活動を体験した。
- ③ 校区内全小中学校で実施する。
小中連携の一環で小学校と共に無言清掃を取り入れる事にし、お互いの交流を行った。
- ④ 役割を明確化し、3ヶ月間、掃除の分担を固定する。
自分の役割がはっきりし、テキパキと集中してできる。また、掃除の手際がよくなり、自分の持ち分に誇りを持って掃除するようになった。
- ⑤ 音楽の効果（移動整列の「音楽A」、黙想の「音楽B」）を取り入れる。
掃除時間が「静かな時間」を作り出した。無言で静かな環境の中で掃除することで『一生懸命掃除する』姿が生まれた。ひいては、しんどいことでも一生懸命に取り組む姿を育成することができた。
- ⑥ 毎日定例で掃除できるようにした。
「今日は掃除がない」などの不定期では定着しない。毎日の積み重ねを大切にした。
- ⑦ 雑巾がけを基本にした。
丁寧な拭き方「庚午ぶき」を示し、雑巾がけを全員で取り組むことで、道具の破損が激減すると同時に学校の隅々まできれいになった。
- ⑧ 生徒会委員会を活動の中心にし、校内美化を推進した。
「掃除リーダー」会の運営、無言清掃の説明、アンケート集約など委員会が積極的に活動し、「無言清掃」を学校の中心に据えた。



取組の成果（効果）『キーワード 自己肯定感』

- ・ 無言清掃のアンケートでは、「無言で集中して行う習慣がついた」「3ヶ月同じ仕事をやることで責任を持ち役割を果たすことができた」「『気づき清掃』までするので、やりきったという達成感が持てた」などの意見が聞かれた。
- ・ 昼食放送で「無言清掃」の肯定的評価を放送することで生徒の意欲を喚起した。
- ・ 生徒アンケートでは「一生懸命掃除をしている」の項目で、「良く当てはまる」と回答した生徒は、無言清掃の前の24, 7%→71, 4%と飛躍的に向上した。さらに「一生懸命掃除をする」ことで教室を大事にするようになった。3年生は模擬面接の回答で「庚午中学校の良いところは」を「無言清掃」と答える生徒が多かった。自分のがんばりに自信を持って答えられる活動となっている。

今後の展開『キーワード 無言の力 無言移動・無言集合』

- ・ 「朝読書」と「無言清掃」で静かな時間を持つことで、生徒全体の落ち着きを育てた。
- ・ 「無言清掃」の取組2年目となる今年は「無言移動・無言集合」を朝会に生徒会が取り入れた。「無言」集合することにより「しっかり聞く」ことができるようになっている。修学旅行や野外活動などの行事でも「無言集合」することで指示が徹底するようになった。生徒会の「無言の力」「空気を読む」など安心安全な学校を生徒会が推進している。

他校へのアドバイス『キーワード ベクトルを揃える』

「無言清掃」を学校全体で取り組むことで、担任一人で学級をつくるのではなく、学年・学校で学級を作っていく取組の一つになっている。また、生徒は褒められることが多く、自己肯定感がもてる活動になっている。学校全体で学級づくりを支える活動になった。転勤者や初任者にとっても、学校全体が取り組んでいることで、指導が通りやすく、落ち着いた人間関係が作りやすい。当たり前のレベルが高いことが、学級経営に好影響を与え、学習意欲の向上につながった。